

平成27年度 第2回(12/15開催) 総合教育会議 各委員発言要旨

発言者	発言要旨
福田 知事	<ul style="list-style-type: none"> ・誇れるふるさととちぎをつくり、次の世代に確実に引き継いでいくためには、地域を支え、新しい時代を切り拓く人材の育成が必要 ・ふるさとへの愛着や誇りの醸成、子どもたちの知・徳・体の調和のとれた発達を促進、豊かな人間関係の構築の支援等が重要 ・知・徳・体と並んで重要なものとしては「食育」が挙げられる。健康増進、社会との関わり、コミュニケーション等の役割 ・学業と体力を両方併せて高めていくことが、人づくりの中の重要な柱 ・生涯現役社会の実現のためにも、地域の人材に力を貸してもらう仕組みを作っていく必要あり ・教育委員も中高生の意見をくみ上げる機会を持ってもらいたい
岡 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標には、子どもの自立、学校で社会性を学ばせることが表されており、発達段階に応じた積み重ねが重要 ・施策の方向には、教育委員会が自ら取り組むこと、知事部局との連携により取り組むことが明確 ・高校生に地域への愛着を持たせるためには、問題点を見据え解決策まで考え実際に行動することも重要 ・教育環境整備として、次世代の教育や教師志望の子どもの育成のため、よい教育をする教師の育成に取り組むべき
吉 澤 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化の時代に教育に係わる施策が非常に重要 ・施策の方向は整理されており、「自分の生き方を考える教育の充実」には惹かれ、地域を支える、グローバル人材は特に興味を持つ ・取組の中に栃木が一番というものがあってもよい ・大綱を作り教育の魅力を作ると言うことは、他地域の若い人が栃木に行って子どもを育てようかという魅力を作れるかどうかである ・本県に進出する企業が家族も連れて行こうと思える教育を含めた地域の魅力が必要
伏 木 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を選ぶ段階で、社会との経験が少ない今の子どもたちが、教師の力を借りて、迷いながらも、自分の適性や能力を見極め、自分が望む将来をつかんで欲しい ・社会に入る際に支えになるのは、人とのつながりをきちっと持つこと、基本的な学力を身につけていること ・女性の社会進出、女性の自己実現は核家族の中で推進することは現実には難しい ・地域の子どもたちをみんなで下支えしながら、地域力を高め、育てていくことが人づくりには不可欠

参考資料1

発言者	発言要旨
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・知育・徳育・体育を支えるのは食育。食育を一つの柱としてとらえておくことが必要 ・米国の実験で早い段階での教育が大切と言うことが実証されており、子どもの成長を考えると幼児教育に力を入れるべき ・安心して子どもが産み育てられる環境を整えていくことが、今後の少子化対策につながり、独自性のある取組が地方創生にもつながる ・子どもたちが自分たちで考える場が増えることが、主権者教育にもつながり、責任を持たせることにもつながる。 ・大切な話合いの場に子どもたちも参加できる機会があるとよい
陣内委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生を活用し、地域の中で大学生が主体となって次世代を育てる仕組みが必要 ・グローバル人材とは、自分で道を切り開いていく力も持っている人。自分たちの地域を語れるグローバルな人材も必要。グローバルとローカルをバランスよく教育の中で進めていくことが重要 ・小中高校生が、ふるさととちぎを学び何ができるのか、できることは行動を起こすことが必要。自分たちにできることがあれば、考え、行動を起こすようにする ・都市という環境で生きていくには文化が重要。文化を通じた人づくりは県として力を入れていってほしい。 ・「持続可能性(サステナビリティ)」と「回復力(レジリエンス)」を担える人材という視点も必要 ・企業の研究員が地方に移る、県外に出た子どもたちが帰ってきて働くための条件として、子どもの教育が重要
古澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・大綱の基本目標は、「自立」、「社会参画」、「協働」、教育振興基本計画の方向性とも一致 ・学力の向上にしっかり取り組む必要があり、これからの時代は職業能力の更新が常に必要であり、そのための基本は学力 ・国体と全国障害者スポーツ大会の本県開催もあり、スポーツを通じた人づくりの取組も必要 ・高校生の運動部加入率は高まっている ・運動部活動は、体力向上ばかりでなく、気力の充実等人づくりそのもの。運動部活動の活性化にも取り組む ・子どもたちは地域社会の一員として、社会に参画していくという意識、力を育てていくことが大事